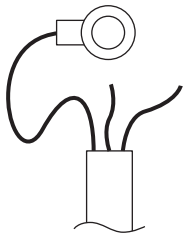


図 6
（アース線に M5 用丸端子を圧着する）

G 端子：アース線を接続
L1 端子：ライン線を接続
L2 端子：ニュートラル線を接続

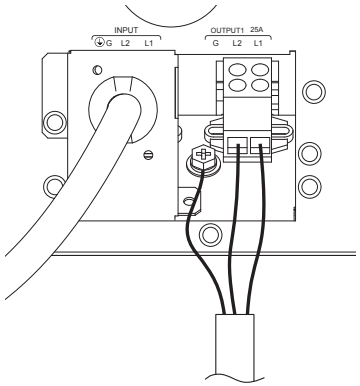


図 7

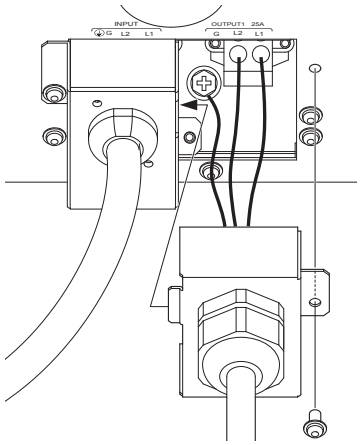


図 8

電子機器ホームページ　http://www.omron.co.jp/ese/ups/

本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
© OMRON Corporation 2014 ALL Rights Reserved

オムロン株式会社

K1L-D-14061A

OMRON

ケーブルクランプセット BUX3002R/BUX5002R 取扱説明書

BUX3002R は、オムロン製無停電電源装置 BU2002RWL/BU3002RWL 専用、BUX5002R はオムロン製無停電電源装置 BU5002RWL 専用のケーブルクランプセットです。
ケーブル外径サイズ（BUX3002R）：10.5 ～ 14.5mm
ケーブル外径サイズ（BUX5002R）：14.5 ～ 18.5mm

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

⚠	注　意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

⃠ :禁止（してはいけないこと）を示します。例えば ⃠ は分解禁止を意味しています。

❗ :強制（必ずしなければならないこと）を示します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
最新の対応機種は当社ホームページを参照してください。
(http://www.omron.co.jp/ese/ups/)

⚠ 注 意

AC入力を配電盤から直接接続される場合は、配線工事を電気工事業者（第二種電気工事士以上の有資格者）に依頼して行なってください。 ❗

- BU2002RWL で2000VA/1400W までご利用の場合、配線容量は11A 以上必要です。
- BU3002RWL で3000VA/2100Wまでご利用の場合、配線容量は16A 以上必要です。
- BU5002RWL で5000VA/3500Wまでご利用の場合、配線容量は27A 以上必要です。

AC入力端子の接続を間違えないこと。外部設置ブレーカをオフにした状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行なうこと。端子台カバーを必ず取り付けること。 ❗

- 感電、漏電の危険があります。

本機と商用電源の間に、ブレーカ（両切り）を挿入し、操作しやすい場所へブレーカを配置してください。 ❗

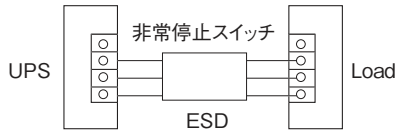
使用時は出力用端子台のカバーを必ず取り付けること。また、カバーを外した状態で「電源」スイッチを入れないこと。 ❗

- 「電源」スイッチを入れると出力用端子台に電圧が印加され、感電することがあります。

⚠ 注 意

出力用端子台に機器を接続する場合は、必ず機器と負荷の間に非常停止スイッチ（ESD）を挿入すること。

●不慮の事故発生時も非常停止スイッチを切ることで、接続機器への電源供給を止めることができます。
●火災防止のため、定格15A（BU2002RWL）、20A（BU3002RWL）、30A（BU5002WRL）以上の非常停止スイッチ（ESD）に接続してください。
● 操作しやすい場所に非常停止スイッチを設置してください。



UPS本体を持ち上げる時は、端子台カバーを持たないこと。

●端子台カバーがはずれて落下すると、けがなどの危険があります。

UPSをUL、CE規格適合品としてご使用になる場合は、ケーブルクランプ交換を行わないこと。

● ケーブルクランプ交換機能はUL、CE規格に適合しておりません。

◆ 製品の梱包内容 ◆

BUX3002R
ケーブルクランプセット 1
取扱説明書 1
取付ネジ（M3）.....2

BUX5002R
ケーブルクランプセット 1
取扱説明書 1
取付ネジ（M3）.....1

■ 取付方法

＜ BUX3002R の場合＞

1. 接続する電線を、本製品 (端子台カバー ; ケーブルクランプ付き）の穴に通します。（図 1 参照）
   使用する電線サイズ、被服の剥き量等は表 1 を参照ください。
2. アース線に規定の丸端子を圧着し、接地端子のネジで締め付けてください。（図 2 参照）
3. マイナスドライバで端子台のネジを緩め、被覆を規定の長さまで剥いた電線を端子台斜め下から奥まで挿入し、その状態で端子台のネジを締めてください。（図 3 参照）
   G 端子に接続する線は、L1 と L2 に接続する線より長く配線してください。
4. 本製品 (端子台カバー) の上方を本体のスリットに挿し込み、同梱の M3 ネジ 2 個を使用して締め付けます。（図 4 参照）ケーブルクランプのダイヤルを締め、電線を固定します。

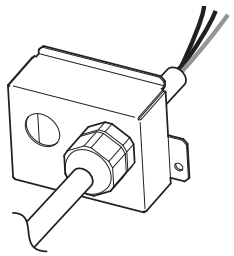


図 1

	BU2002RWL BU3002RWL
接続可能電線サイズ	0.5 ～ 4mm^2
電線被覆剥き量	6 ～ 8mm
締め付けトルク（L1, L2）	0.49N·m
締め付けトルク（⏚, G）	1.5N·m
ケーブル推奨サイズ	2mm^2 (AWG14)
ケーブル外径サイズ	Φ 10.5 ～ 14.5mm

表 1

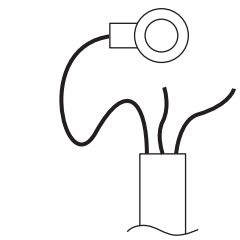


図 2
（アース線に M4 用丸端子を圧着する）

G 端子：アース線を接続
L1 端子：ライン線を接続
L2 端子：ニュートラル線を接続

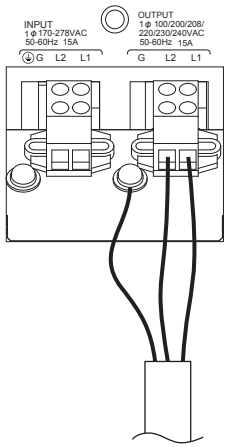


図 3

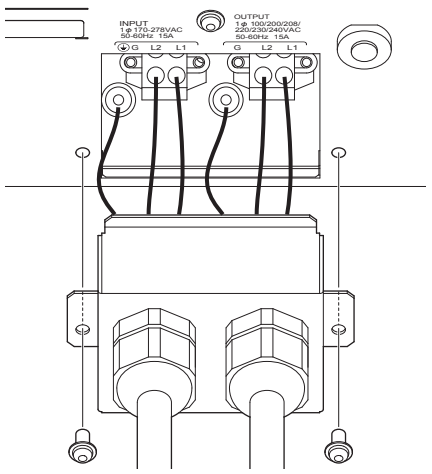


図 4

＜ BUX5002R の場合＞

1. 接続する電線を、本製品 (端子台カバー ; ケーブルクランプ付き）の穴に通します。（図 5 参照）
   使用する電線サイズ、被服の剥き量等は表 2 を参照ください。
2. アース線に規定の丸端子を圧着し、接地端子のネジで締め付けてください。（図 6 参照）
3. マイナスドライバで端子台のネジを緩め、被覆を規定の長さまで剥いた電線を端子台斜め下から奥まで挿入し、その状態で端子台のネジを締めてください。（図 7 参照）
   G 端子に接続する線は、L1 と L2 に接続する線より長く配線してください。
4. 本製品 (端子台カバー) の左側のツメを入力端子台カバーのスリットに差し込み、本製品の右側にある穴に、同梱の M3 ネジ 1 個を使用して締め付けます。（図 8 参照）
   ケーブルクランプのダイヤルを締め、電線を固定します。

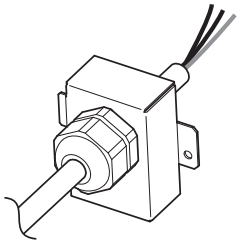


図 5

	BU5002RWL
接続可能電線サイズ	1.5 ～ 6mm^2
電線被覆剥き量	9 ～ 11mm
締め付けトルク（L1, L2）	1.18N·m
締め付けトルク（⏚, G）	2.5N·m
ケーブル推奨サイズ	3.5mm^2 (AWG12)
ケーブル外径サイズ	Φ 14.5 ～ 18.5mm

表 2